

国民体育大会夏季水泳競技大会 難波 大会新で連覇

400メートルメドレーリレー 200リレーも活躍

第58回国民体育大会夏季水泳競技大会が9月13日から16日まで静岡県富士水泳場で行われ、専大からは競泳に正中輔(経済4・北上高＝兵庫県代表)と難波梓(商2・新潟西高＝新潟県代表)が出場した。

難波は400メートルメドレーリレー(第3泳者・バタフライ)で予選、決勝ともに大会新を出し、2年連続の優勝。200メートルフリーリレーでも5位に入るなど活躍した。レース後「連覇を達成できてうれしい。来年はリレーでも、個人でも良いタイムを収めたい」と語った。

正中は100メートル平泳ぎで7位と健闘した。

また、9月5日から7日まで東京辰巳国際水泳場で、第79回日本学生選手権水泳競技大会が行われ、200メートル平泳ぎで坂本簡霞(文4・八王子高)が、200メートル個人メドレーで水島茜(法2・品川女子学院高)がともに3位と健闘した。(染谷智子・文2)

【ニュース専修10月号11面】

レスリング全日本学生王座 2年連続で準優勝



▲レスリング部のメンバー(前列左から2人目、賞状を手にするのが岩山主将)

岩山に敢闘賞

レスリングの全日本学生王座決定戦が9月22日、駒沢体育館で行われ、専大は2年連続で準優勝という見事な成績を収めた。また、個人でも岩山元彦主将(経営4・岐阜工高)が敢闘賞に輝いた。

大会は16大学がトーナメントで争う形式で行われた。専大は、大事な初戦・神大戦に4-3で勝利したのを皮切りに、2回戦(拓大)、3回戦(中大)を4-3の僅差で勝利。強豪との接戦を確実にものにしながら駒を進めた。迎えた日大との決勝戦では、うまく波に乗ることが出来ずに1-6で敗北。昨年に続き、あと1歩というところで王座を逃してしまった。

「三度目の正直」という言葉がある。来年こそは、念願の王座を手にすることを期待したい。(高橋伸明・文2)

【ニュース専修10月号11面】

フェンシング関東学生 男子フルーレ団体優勝 個人で片岸(フルーレ)、荻(サーブル)



▲個人サーブルで優勝した荻祥子(左)

フェンシングの関東学生選手権が9月29日から10月3日まで駒沢屋内球技場で行われ、男女共に活躍した。

男子団体はフルーレで優勝、サーブルで準優勝、エペで4位。個人でもサーブルで片岸佑一郎(経営4・富山西高)が優勝、フルーレで下野磁史(商3・鹿児島南高)が3位。

女子は団体フルーレが3位、サーブル・エペが4位。個人サーブルで荻祥子(文3・大分豊

府高)が優勝、フルーレで平田京美(経済3・羽島北高)が準優勝。

下野がチームをまとめた男子フルーレ団体。「負けるような練習はしていない」と自信を持ち、決勝の日体大戦でもメンバー全員が思いきり力を発揮、強さを見せつけた。

女子フルーレ団体は、準決勝で東女体大に惜しくも敗れた。「本来ならばもっと上を狙えたはず。今後はメンタル面を鍛えていきたい」と庭田瑞穂主将(経営4・鹿児島南高)は抱負を語った。(佐山美貴・文3)

女子フルーレ個人で鈴木彩香が優勝 関東新人戦

また、9月26,27日には関東新人戦が駒沢屋内球技場で行われ、フルーレ団体で男子は3位、女子は2位に入賞した。

女子個人では、鈴木彩香(商1・埼玉栄高)がフルーレで優勝を果たし、サーブルでも7位。男子個人では、サーブルで眞野純一(法1・富山西高)が3位、本間闘士(法1・今別高)が8位、エペで小野誠幸(経営1・米沢東高)が8位と健闘した。(矢口蘭・文1)

【ニュース専修10月号11面】